

事務事業名	水処理センター施設維持管理事業	担当	上下水道部 下水道課 水処理センター
政策名	5 「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	2 下水道事業の推進
成果指標	名称	単位	4 年度実績
	放流水の水質（BODの平均値） 基準値 15mg/L	mg/L	真岡3.7mg/L 二宮2.2mg/L
	放流水の水質（SSの平均値） 基準値 40mg/L	mg/L	真岡4.4mg/L 二宮1.7mg/L
事業概要	水処理センターは、快適な市民生活環境の確保と、河川等の水質保全を目的として計画された施設で、市民の生活排水等を浄化している。 真岡市水処理センターは、昭和58年3月から供用を開始し、標準活性汚泥法により処理水を五行川に放流している。 二宮水処理センターは、平成7年3月から供用を開始し、オキシデーションディッチ法により処理水を西川に放流している。 また、両施設とも老朽化が進んでいるため、中長期的な施設の状況を予測しながら、計画的かつ効率的に管理する「ストックマネジメント計画」に基づき、点検・調査・改築・修繕等を実施している。		
4 年度実績・成果・課題	施設の適正な運転管理により、放流水の水質については、基準値以内となっている。 また、「ストックマネジメント計画」に基づき、設備の修繕・更新等を行うことにより、下水道施設の機能停止や事故等を未然に防止している。 令和4年度は、真岡市水処理センターの耐震診断（対象施設の耐震化対策に係る劣化調査）及び場内プラント設備へ井戸水を供給する用水設備更新工事等を実施した。 今後は、計画的に設備の修繕・更新等を行うため、社会資本整備総合交付金等による事業費の確保が必要となる。		
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 施設の老朽化が進んでいるため、適切な時期に修繕・更新等を行っていく。 しかしながら、下水道事業の財政状況を鑑み、中でも、更に優先性を考慮していく。 また、ストックマネジメント計画の対象となるものについては、適宜、計画の見直しを行い、社会資本整備総合交付金を積極的に活用し、対応していく。		